

選択上のご注意

1. 防火性について

建築物の内装仕上げについては、建築基準法による防火上の基準が設けられています。防火性能は、下地材料及び防火壁装材及び施工方法の組み合わせによって決まりますのでご注意ください。

2. 柄合わせの商品について

柄合わせを要する商品は、無地系よりも要尺が多くなりますのでご注意ください。柄合わせの必要な商品は「リピート」を表示していますのでご確認ください。なお、糊の水分によって寸法変化が生じるため、仕上りのリピートと見本帳のリピート表記に若干の誤差が生じます。あらかじめご了承ください。

3. 機能性壁紙について

ご使用の際は、特長や注意点をご理解の上ご使用ください。

4. 見本・サンプル帳・写真について

製造ロットの違いにより、見本やサンプル帳と実際の商品が若干異なる場合があります。照明光源が変わると色が違って見える場合があります。改良その他の事情により予告なく仕様変更を行うことがあります。施工例写真などは、合成写真を含み、印刷の都合上実物と多少異なって見えることがあります。あらかじめご了承ください。当サンプル帳は2023年6月現在のものです。

5. 柄の特性について

無地系のものであっても、製法上、規則的な柄グセの見える場合があります。あらかじめご了承ください。

6. ご注文について

生地裏に記載されている品番にてご用命ください。

施工上のご注意

1. 施工注意欄の確認

特に注意を必要とする商品には、サンプルの裏に **注1**、**注3** 等を記載しています。商品別施工上のご注意をご一読の上、施工を開始してください。

2. 副資材について

副資材（パテ・シーラー・糊・ボンド・防カビ剤等）は、必ず壁紙施工専用用品をご使用ください。専用用品以外のものを使用すると、目地スキやフクレを発生させる可能性があります。使用の際は、各副資材メーカーの施工要領・取扱注意事項を必ずご確認ください。

3. 商品ラベルの確認

ラベルに記載されている品番・ロット・数量を確認の上、施工を開始してください。同一面上は同ロットで仕上げてください。

4. 三巾ほど施工した時点で状態を確認

商品検査には充分配慮しておりますが、念のため三巾ほど施工した時点で、商品に問題のないことをご確認ください。商品に明らかな欠陥が見られる場合には、すぐに施工を中断し当社までご連絡くださいますようお願いいたします。三巾以降の作業が進行した場合、施工費賠償につきましては原則としてお受けいたしかねますのでご了承ください。

■ 下地の調整

1. 下地は乾燥させてから

モルタル等の湿式下地や石膏ボードの石膏系接着剤による直貼り工法（GL工法等）及びパテ・シーラーを施した箇所は十分に乾燥させてから施工してください。乾燥が不十分な場合、壁紙の変色・ハグレ・カビの発生を招くことがあります。

2. 下地の平滑仕上げ

下地は施工後の不陸を防ぐために平滑に仕上げてください。また、ネジ・クギ類は施工後の変色を避けるため、突起を完全に沈め止め止めをしてください。

3. モルタル下地、ペンキ下地、木質系下地の注意点

それぞれの下地専用のシーラーで必ず下地処理をしてください。また、ペンキなどの木質系下地に直接施工した場合、時間が経つとシミや変色の原因となりますので、下地処理（シーラー処理）を充分に行ってください。シーラーは接着不良や変色を防ぎます。

4. 下地と同色のパテを使用

施工後に下地の色が透けて見えることを防ぐため、パテは下地と同色の色をご使用ください。

■ 施工糊について

1. ホルムアルデヒド対策について

建築基準法の規制対象外となる「F☆☆☆☆」表示品をご使用ください。

2. 糊メーカーの注意事項を確認

施工期に関しては、糊メーカーの注意事項を守ってください。塗布量の不足は壁紙のアハガキや接着不良の原因となります。また、下地の種類・状態に合わせて、防カビ剤やエチレン酢ビ系ボンド等を適量添加してください。

3. 機能性表示品（汚れ防止）の注意点

汚れ防止壁紙は材料のコシが強いので、エチレン酢ビ系のボンドを混入してください。

4. 糊付け後の注意点

適切なオープンタイムを取ってから張り出してください。施工を容易にするとともに、フクレの発生を防ぎます。また、壁紙をきつたたんだり、湾曲部に荷重がかからないようにしてください。折れジワが発生する可能性があります。

■ 張付け

1. 有効巾について

壁紙は必ず有効巾でご使用ください。有効巾を超えた使用は、色違いの原因となります。

2. 柄合わせについて

柄合わせを要する商品は、見本帳の生地裏および商品情報一覧表に「リピート」を表記しています。柄合わせは必ず壁紙両端にある柄合わせマークで高さを合わせて施工してください。また、印刷柄でなく、エンボスの凹凸で柄を合わせる場合は、「エンボス柄合わせ」と表記しています。「ステップ柄合わせ」は一般的な平行柄合わせとは合わせ方が異なりますのでご注意ください。なお、一部の「エンボス柄合わせ」商品で柄合わせマークがない場合があります。その場合は目視にて柄を合わせてください。リピートは柄のサイズ感を表すもので、柄合わせ位置ではありません。有効巾より小さいリピートサイズで柄を合わせた場合、色違いが発生することがあります。柄合わせは必ず有効巾の端で行ってください。

3. ジョイント位置について

ジョイント位置は必ず有効巾の端部同士で施工してください。両端部と中央部では色差の生じることがあります。また、窓の上下など一部だけをヨコ張りしてタテ張りやジョイントすると色違いの原因となります。必ず同じ方向で施工してください。

4. 石膏ボード下地の注意点

重ね切りを行う場合は、石膏ボードの表層紙まで切込まないようにご注意ください。目地スキの原因となります。

■ 養生

1. 粘着性の強い養生テープは使用しない

粘着性の強いマスキングテープ（養生テープ）の使用は避けてください。また、粘着性の弱いものであっても貼付けたま長時間放置しないでください。粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。また、テープを剥がすときに壁紙を破損することがあります。

2. 施工後は自然乾燥を

施工後は接着が安定するまで自然乾燥させてください。窓を開けて風通しをよくしたり、冷暖房などによる急激な室温の変化は避けてください。目地スキ、ハグレ等の原因となります。

荷扱い・保管上のご注意

1. 保管はタテ積みで

商品の保管は、タテ積みでお願いします。ヨコ積みと桁積みはしないでください。商品によっては置き跡が残る恐れがあります。

2. 保管上の注意

保管場所は、火気・水・湿気・直射日光を避けてください。また、商品を地面へ直に置いて保管しないでください。

廃棄上のご注意

1. 残材を焼却しない

壁紙の残材やサンプル帳を焼却しないでください。焼却時のガスは、目・粘膜等を刺激することがありますのでご注意ください。

2. 産業廃棄物として処理する場合

施工後の壁紙の残材やサンプル帳を産業廃棄物として処理する場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。

3. 一般廃棄物として処理する場合

少量の残材を一般廃棄物（家庭ゴミ）として処理する場合には、市町村条例に基づき処分してください。なお、業者の方が廃棄する場合には産業廃棄物となりますのでご注意ください。

商品別施工上のご注意

壁紙は商品特性（厚さ・表面強度・光沢感・フィルムの有無）や、施工環境（ダウンライト・間接照明の有無/当り度）で施工難易度が変わります。特に意匠性を優先した薄手の壁紙などは、下地調整に手間がかかり施工費が大きく変わる場合があります。住まいの壁紙100選では商品のタイプ別に施工注意番号を表記しました。それぞれの商品特性や施工要領をご確認の上、商品の選択をお願いします。また、施工につきましても、施工関係者への事前確認（商品特性・施工環境）をお願いします。

施工注意 黄 一般のビニル壁紙に比べ、施工上の注意が多く必要な商品です。

施工注意 赤 一般のビニル壁紙に比べ、施工上の注意が特に多く必要な商品です。使用環境など事前に関係者様と協議してください。

施工注意 1 薄手商品

▶ 下地が出やすい商品

- 丹念にパテ処理を行い、下地を平滑に仕上げてください。
- 糊の塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。

施工注意 3 薄手フラット・フィルム・表面強化商品

▶ 特に下地が出やすい商品

▶ ダウンライト・間接照明下は注意が必要

▶ カールしやすい商品

- 丹念にパテ処理を行い、特に下地を平滑に仕上げてください。
- 糊の塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。
- フクレや浮き、ハグレを防止するため、出隅入隅部に捨て糊を行ってください。
- 材料のコシが強くカールしやすいため、エチレン酢ビ系のボンドを混入した糊を必ず使用してください。
- 折れジワの発生を防ぐため、糊付け時は大ききたみ、上積みは避けてください。
- 糊の付けだめを避け、オープンタイムは15～30分以内を目安にしてください。また、オープンタイムは温度や湿度に左右されやすいため、現場環境に合わせ調整してください。
- 糊付け後は120分以内に張付けてください。
- 糊が柔らかいうちに必ずプラスチック製のハケ（スムーサー等）もしくはローラーを用いて、糊だまりが残らないようにならしてください。糊が固くなると取れなくなるため注意が必要です。
- 施工の際は必ず本設照明と同等の環境下で確認してください。

施工注意 10 薄手フラット商品

▶ 特に下地が出やすい商品

▶ ダウンライト・間接照明下は注意が必要

- 丹念にパテ処理を行い、特に下地を平滑に仕上げてください。
- 糊の塗布量は140～160g/m²を均一に塗布してください。
- 糊の付けだめを避け、オープンタイムは15～30分以内を目安にしてください。また、オープンタイムは温度や湿度に左右されやすいため、現場環境に合わせ調整してください。
- 糊付け後は120分以内に張付けてください。
- 糊が柔らかいうちに必ずプラスチック製のハケ（スムーサー等）もしくはローラーを用いて、糊だまりが残らないようにならしてください。糊が固くなると取れなくなるため注意が必要です。
- 施工の際は必ず本設照明と同等の環境下で確認してください。

施工注意 12 フィルム・表面強化商品

▶ カールしやすい商品

- フクレや浮き、ハグレを防止するため、出隅入隅部に捨て糊を行ってください。
- 材料のコシが強くカールしやすいため、エチレン酢ビ系のボンドを混入した糊を必ず使用してください。
- 折れジワの発生を防ぐため、糊付け時は大ききたみ、上積みは避けてください。